

大阪大学公式ウェブページの リニューアル

大阪大学 ウェブデザインユニット

Web Design Unit, Osaka University

伊藤 雄一 (Yuichi Itoh)



大学広報の変化

👉 独立行政法人化後，大学の広報が変化しつつある

👉 広く一般へ向けた大学活動の告知（社会学連携）

👉 少子化の時代における優秀な学生の確保

👉 中高生へのアピール

👉 即時性のある情報発信

👉 グローバルな情報発信

▶ 広報媒体としての大学ウェブページの重要化

▶ ウェブを専門に扱う部署，ウェブデザイン
ユニットの設置（2008.6）

👉 即時性のある情報発信ができていない

👉 各部署の更新担当者のスキルに依存

👉 HTMLやFTPクライアント

▶ 更新担当者のスキルに依存しない更新作業環境の提供

👉 更新担当者が自由にコンテンツを上書き可能

👉 実際にトップページが書き換えられたことも…

▶ コンテンツに対する強力なアクセス権管理

👉 コンテンツデザイン力の欠如

👉 都度発注による時間的・金銭的コストの増加

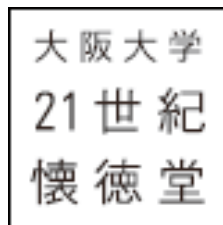
▶ デザイナーの雇用と、CSS/XHTMLによるデザイン手法

👉 英語による情報発信能力不足

👉 英語コンテンツが少なすぎ、海外や留学生へのアピール不足

▶ 日本語コンテンツを入力すると英文エディタに自動通知するシステム

Contents Management System



京都大学



- 👉 強力なワークフローサポート, Kupuエディタ
- 👉 教育機関・研究機関などで採用実績あり
 - 👉 阪大でも21世紀懐徳堂, GlobalCOEのページで採用
<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp> <http://www.ist.osaka-u.ac.jp/GlobalCOE/>
- 👉 オープンソースである

👉 即時性のある情報発信ができていない

👉 各部署の更新担当者のスキルに依存

👉 HTMLやFTPクライアント

▶ 更新担当者のスキルに依存しない更新作業環境の提供

▶ WordライクなKupuエディタの提供

👉 更新担当者が自由にコンテンツを上書き可能

👉 実際にトップページが書き換えられたことも…

▶ コンテンツに対する強力なアクセス権管理

▶ フォルダ単位での強力なアクセス権管理,
継承などによる柔軟なアクセス権管理

👉 コンテンツデザイン力の欠如

👉 都度発注による時間的・金銭的コストの増加

▶ デザイナーの雇用と、CSS/XHTMLによるデザイン手法

▶ Ploneのデフォルト（ただし、あまり融通は利かない？）

👉 英語による情報発信能力不足

👉 英語コンテンツが少なすぎ、海外や留学生へのアピール不足

▶ 日本語コンテンツを入力すると英文エディタに自動通知するシステム

▶ ワークフローによる自動通知システム
日英ページ1対1対応を目指す

システムに関して

- 👉 ApacheとPloneの共存
 - 👉 アクセスコンテンツによってApacheがRewrite
 - 👉 サーバを間借りしているコンテンツの存在
- 👉 コンテンツの移行は中間ファイルを用いてHTMLベースで
 - 👉 HTMLソースのコピペで作成可能なコンテンツタイプの追加
- 👉 Varnishを用いたキャッシュ
- 👉 フロントエンドは2台のサーバを用いて冗長化
 - 👉 ハートビートによる生存確認

コンテンツに関して

- 👉 ヘッダのターゲット別メニューとカテゴリ別メニューを完全分離
- 👉 現在のページはターゲット別がわかりにくい
- 👉 ターゲット別コンテンツはカテゴリ別コンテンツをターゲットに合わせて抽出したもの
- 👉 ターゲット別のみに存在するコンテンツを無くす
- 👉 ニュースや重要リンクなどは参考画像を積極的に利用して一目でわかりやすく
- 👉 ニュースやイベント情報は誰向けのものなのか自動的に表示
- 👉 フッタはページスクロールを不要なようにヘッダメニューと同じものを
- 👉 英語コンテンツの入力は対応する日本語コンテンツからシームレスに

